

2011・2012 年度経済見通し(2011年3月改訂)

当社は、2010年10～12月期のGDP統計(2次速報)の発表を受け、経済見通しを改訂しました。日本経済は、輸出、生産の復調に伴い、すでに踊り場から脱却しており、先行きは設備投資、雇用への波及が緩やかながら続いていくと見込まれます。食料品、原油価格の高騰は一部業種の収益を圧迫する要因となりますが、景気を失速させるには至らないと考えられます。各年度の予測値は前回予測から不変です。

実質成長率：2010年度 3.0%、2011年度 1.5%、2012年度 2.2%

予測表

年度	2009 実績	今回予測			前回予測(2011.2.14)		
		2010 予測	2011 予測	2012 予測	2010 予測	2011 予測	2012 予測
実質 GDP	-2.4	3.0	1.5	2.2	3.0	1.5	2.2
個人消費	-0.0	1.2	0.4	1.0	1.3	0.4	1.0
住宅投資	-18.2	-0.2	7.0	4.2	-0.1	7.0	4.2
設備投資	-13.6	5.2	4.6	4.7	5.5	4.5	4.7
在庫投資(寄与度)	-1.1	0.6	0.2	0.1	0.6	0.2	0.1
政府消費	3.4	2.1	0.6	0.6	2.0	0.6	0.6
公共投資	14.2	-8.5	-4.3	-3.0	-8.6	-4.4	-3.0
輸出	-9.6	17.2	5.0	8.7	17.2	5.0	8.7
輸入	-11.0	10.8	4.6	5.9	10.8	4.6	5.9
名目 GDP	-3.7	1.2	1.0	2.5	1.2	1.0	2.5
GDP デフレーター	-1.3	-1.7	-0.4	0.3	-1.7	-0.5	0.3

[実質GDP寄与度]

内需	-2.7	1.7	1.2	1.5	1.7	1.2	1.5
外需	0.3	1.3	0.3	0.8	1.3	0.3	0.8

(注)単位は前年度比

[四半期]

	2010		→予測 2011				2012				2013
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実質 GDP (前期比)	0.8	-0.3	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7
(同年率)	3.3	-1.3	1.9	1.3	1.8	2.1	2.2	2.2	2.3	2.5	2.7

《本件に関するお問い合わせ先》 株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 米山秀隆
電話 03-5401-8392(直通) E-mail: yoneyama.hide@jp.fujitsu.com

* 本資料は、内閣府記者クラブにて配布いたしております。

以上